



けいちつ  
【啓蟄】3月6日~3月20日頃

「蟄」とは、土の中で冬ごもりしている虫のこと。春の暖かな陽気に誘われて、地中の虫も外へ出てくるといった意味の節気です。虫のほかに蛙や蛇たちも起きだした次には、桃が華やかに初花を咲かせます。冬眠していた虫が目覚め、花が咲き、蝶が舞うという、心浮き立つような春の移ろいを観察できる時期です。

### 3月の行事【春のお彼岸】<sup>ひがん</sup>春分の日を中日とした<sup>ちゅうにち</sup>7日間

毎年春分の日（3月21日頃）と秋分の日（9月23日頃）を中日とした一週間は春のお彼岸と秋のお彼岸です。お彼岸にはご先祖様の霊を供養するため、墓参りや仏壇の掃除をします。また、もち米とうるち米を混ぜて炊き、適度につぶして丸めたものを小豆あんで包んだ「ぼた餅」をお供えします。

### 旬の花【ミモザ】——【花言葉】優雅・友情——

3月8日は女性の社会参画を願う日として国連が定めた「国際女性デー」。イタリアでは感謝の気持ちを込めて、男性が女性にミモザを贈ります。ミモザは比較的水の吸い上げが弱く乾燥にも弱いので、こまめな水替えを行いましょう。



### 2月の本「今日のハチミツ、あしたの私」 寺地 はるな/著

蜂蜜をもうひと匙足せば、あなたの明日は今日より良くなる——。「明日なんて来なければいい」と思っていた中学生のころ、碧は見知らぬ女の人から小さな蜂蜜の瓶をもらった。それから十六年、三十歳になった碧は恋人の故郷で蜂蜜園の手伝いを始めることに。頼りない恋人の安西、養蜂家の黒江とその娘の朝花、スナックのママをしているあざみさん……さまざまな人と出会う、かけがえのない日々。心ふるえる長篇小説。



出典：角川春樹事務所 場所：ティーンズコーナー